

オンラインによる語学研修・文化体験プログラム

参加報告書

氏名	Aさん
所属・学年	文 学部・大学院 総合人間学科 学科・専攻 1 年
プログラム実施 大学名	チェンマイ大学 (国名： タイ)
プログラム期間	2021 年 8 月 30 日 - 2021 年 9 月 10 日
プログラム参加 の目的	英語力を向上させるため。 チェンマイ大学の学生とディスカッションをするため。
プログラムの概 要(授業・フィー ルドワーク内 容、スケジュー ルなど)	授業やディスカッションは zoom を通してすべて行われました。授業は平日に 60 分の授業が 2 コマ (12 時 15 分から 14 時 30 分) あり、月曜日・水曜日・金曜日の夕方には 1 時間ほど (18 時～19 時) チェンマイ大学の学生とディスカッションをする時間が設けられていました。 SDGs の 12「つくる責任、つかう責任」をテーマに進められていたため、1 週目の 1 限では、プラスチックの製造工程や処分方法について学び、2 週目の 1 限では、環境にやさしいパッケージについて学びました。 夕方のディスカッションでは、「美」の定義やお祭りをはじめとする文化、新型コロナウイルスに対する政策等についてディスカッションを行いました。

プログラム参加によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

プログラムを通して得た成果は2点あります。

1点目は、約二週間、英語を聞いたり話したりすることで英語を話すことに対する抵抗がなくなったことです。

2点目は、日本についてもっと知り、説明できるようになろうと思ったことです。今まで、祝日や行事といった日本文化と呼ばれるもの、ひとつひとつの意味を考えることはほとんどありませんでした。そのため、想像していたよりずっと日本について興味や知識を持っている現地の学生と話し、自分がいかに「日本」を知らないか痛感しました。渡航先の国について興味を持ち、知識を得ようとする前に、まずは自国や自分の地元のことについてきちんと説明できるようになることが大切であると気づくことができました。

プログラム参加全体を通しての感想

留学前は、オンライン留学の場合、実際に訪れるより物足りなさを感じるのではないかと想像していました。しかし実際にサマープログラムに参加してみると、住居や食事等の準備や心配をする必要がないため、実際に現地を訪れるより学問に集中でき、チャレンジがしやすいという点ではよかったです。

プログラムの内容に関して、個人的には、チェンマイ大学に所属する学生とのディスカッションが一番印象に残っています。海外の大学生とコミュニケーションを取る機会はあまりなかったので、とても楽しかったです。ディスカッションの中で、新型コロナウイルスのワクチンの接種率や保有数においてタイと日本で差があることを知ったときは、国家間での違いにショックを受けましたが、国際問題について考えるきっかけになったと思います。

他にも、授業の中で先生の話す英語のスピードについていけなかったりディスカッションで伝えたいことをうまく伝えられなかったりした経験は、留学後に英語学習を進めていく上でのモチベーションになりました。